

同志社大学 プレスリリース

アンチエイジングドック開設
に関する記者発表

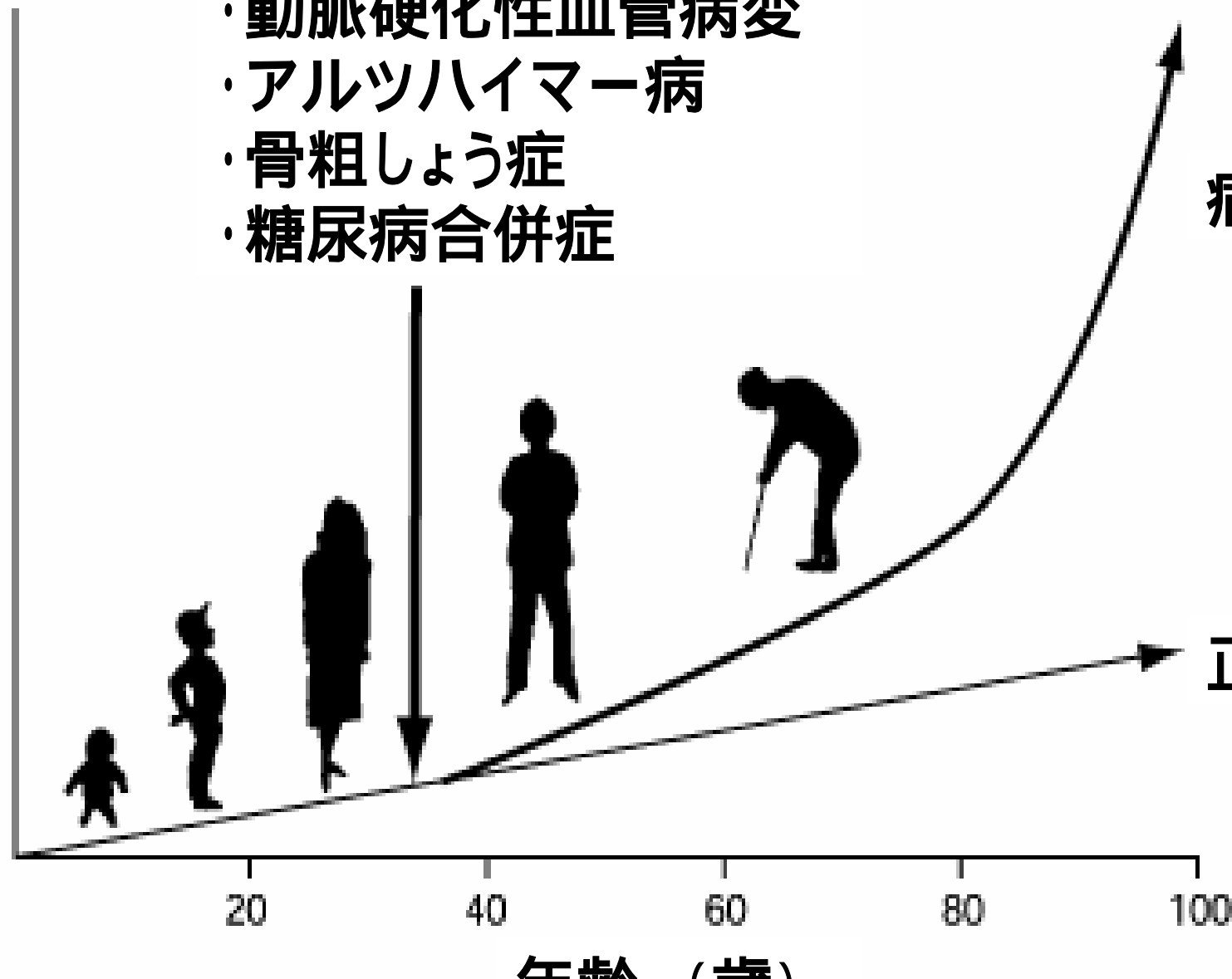
同志社大学アンチエイジングリサーチセンター 教授

米井嘉一

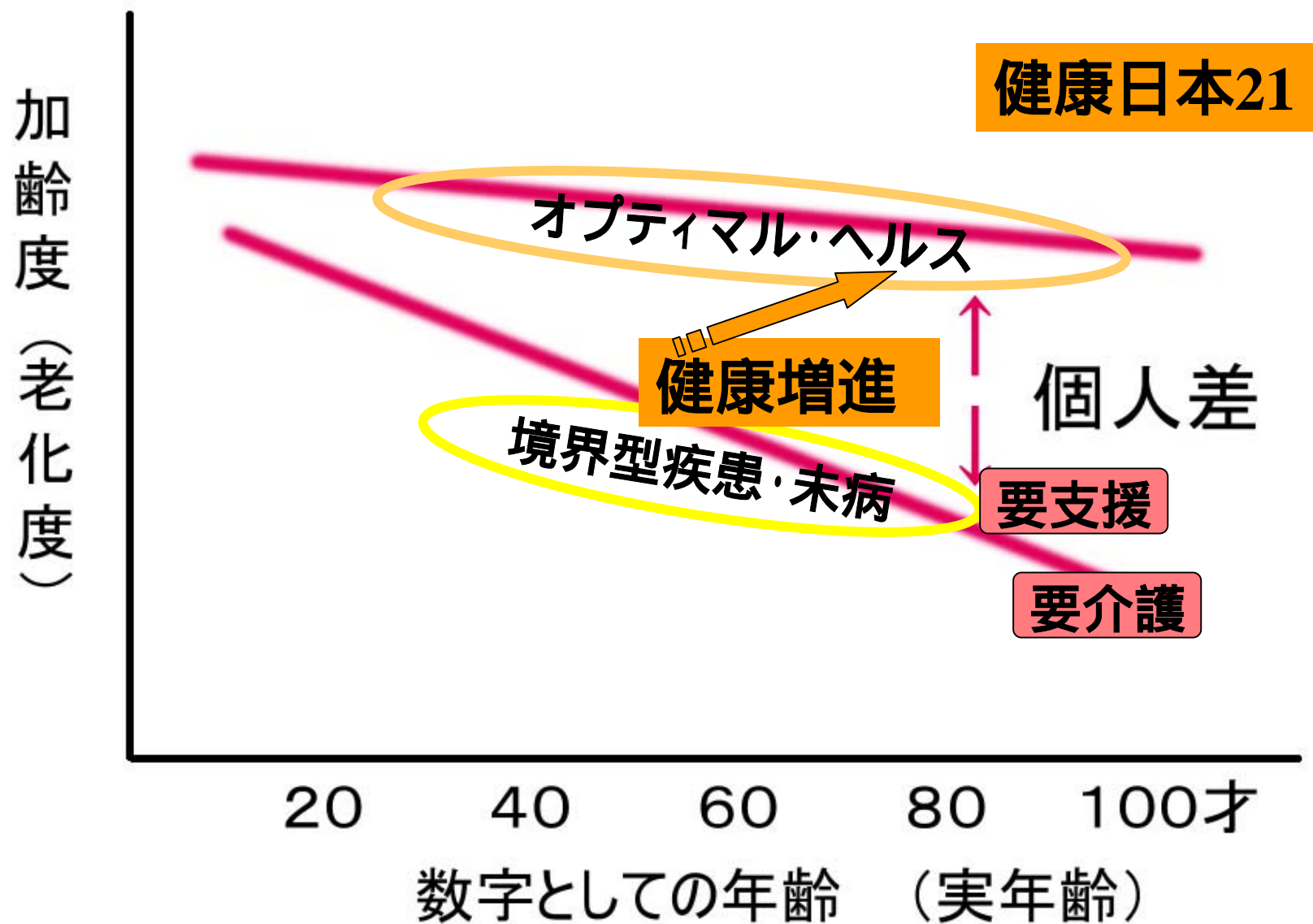
加齢に伴って現れる病態

- ・動脈硬化性血管病変
- ・アルツハイマー病
- ・骨粗しょう症
- ・糖尿病合併症

加
齢



数字としての年齢は意味がない！



アンチエイジング医学が担う役割

- ・病的老化の診断と治療
- ・介護のいない高齢者をつくる
- ・産業医

企業検診への導入

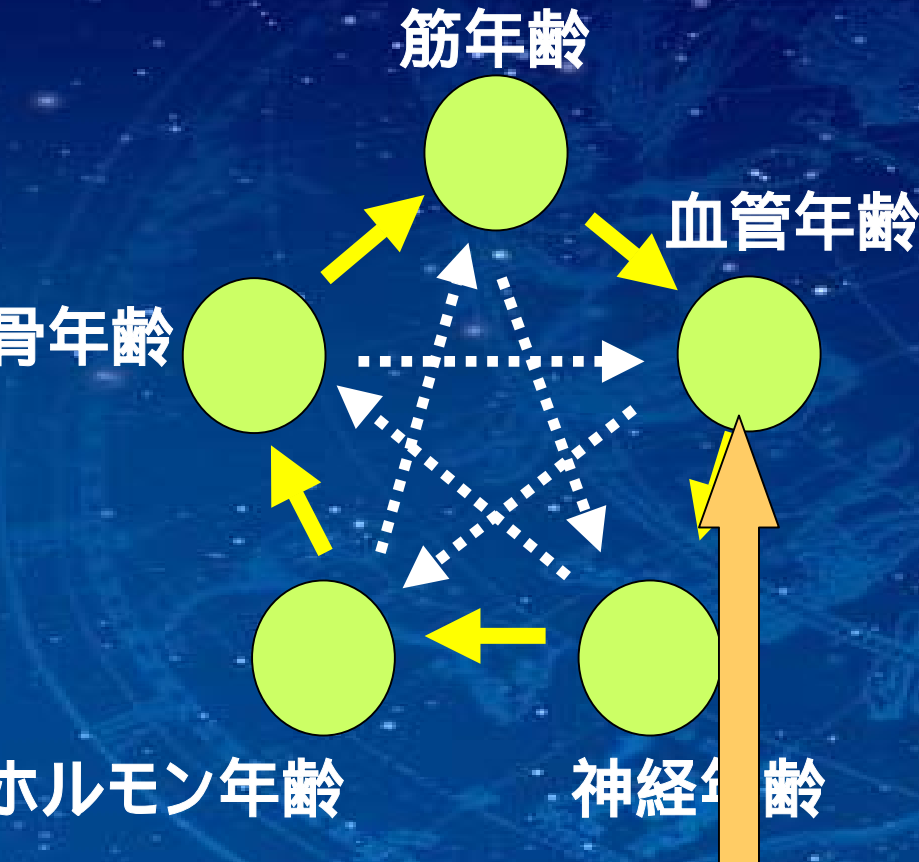
- ・かかりつけ医

地域検診・地域医療への広がり

- ・生命保険会社・健康保険組合との協力
- ・医療費の抑制

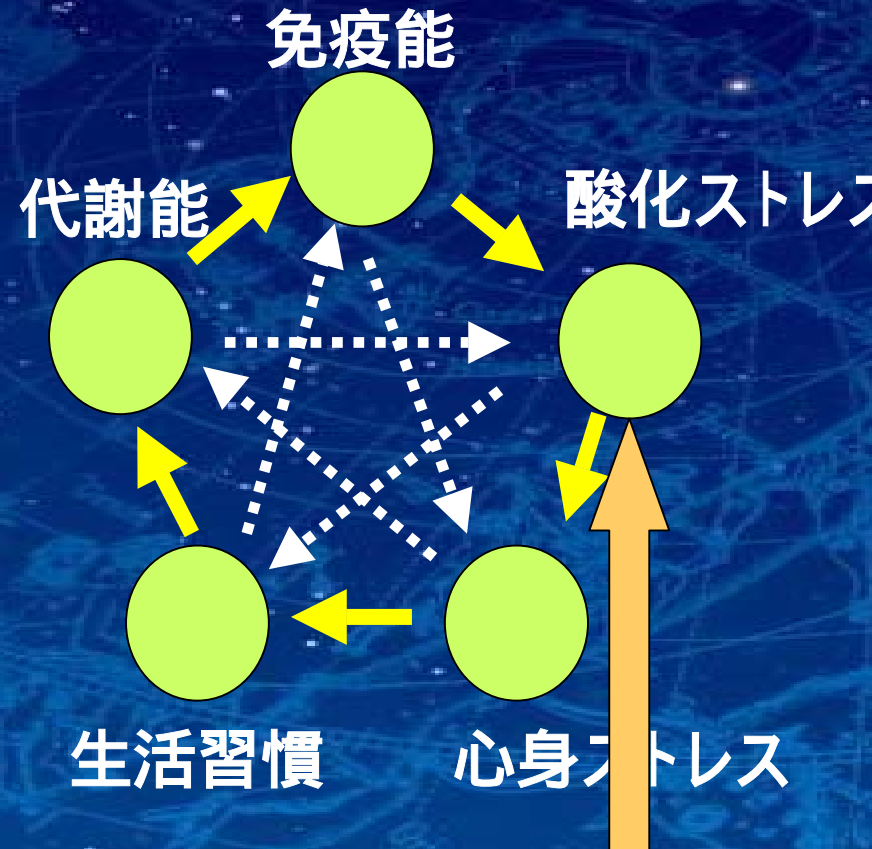
百寿者の研究成果

老化度



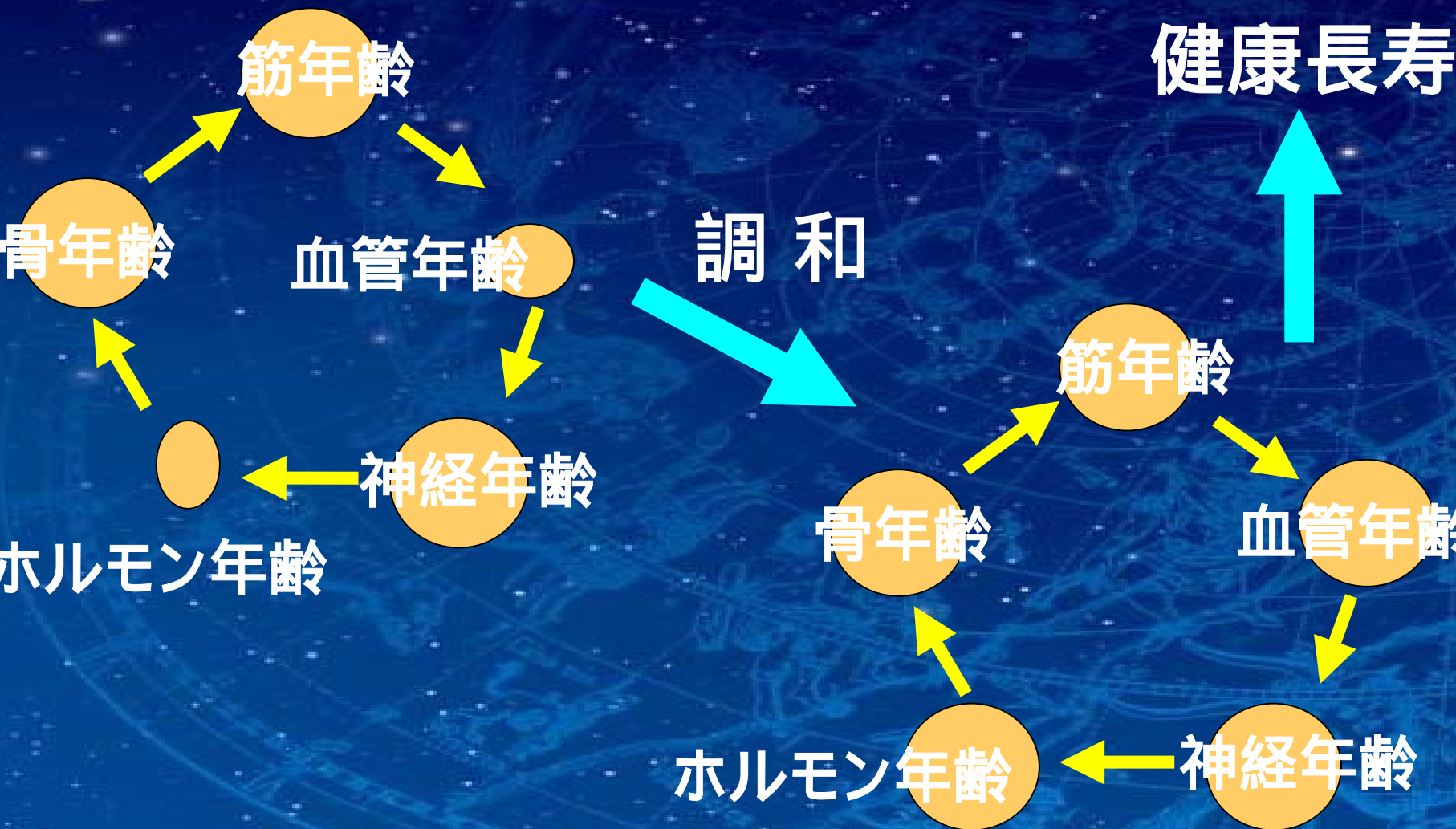
弱点が少ない

老化の危険因子



危険因子が少ない

老化のバランス



アンチエイジングドックの目的

人間ドック

アンチエイジングドック

(対象)

癌・生活習慣

上記に加え

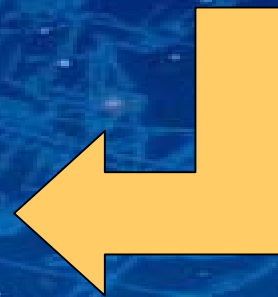
老化・QOL劣化

早期診断

予防

早期治療

(アンチエイジング治療)



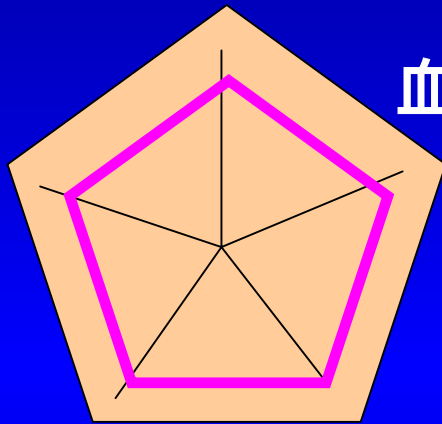
老化を評価するために

老化度の判定

筋年齢

血管年齢

骨年齢



ホルモン年齢

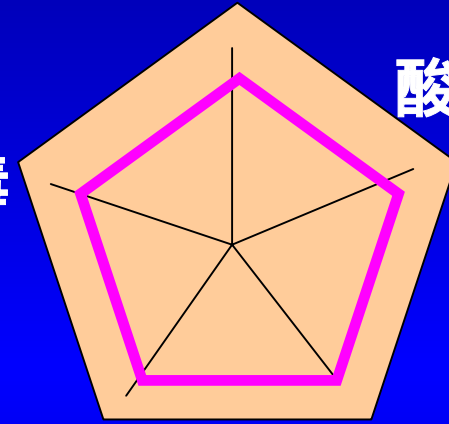
神経年齢

老化の危険因子

免疫力

酸化ストレス

代謝・解毒



生活習慣

身体ストレス

筋年齢： 握力、ウェストヒップ比
除脂肪筋量

血管年齢： 加速度脈波、PWV

神経年齢： 高次脳機能検査

(ウィスコンシン大カードソーティングテスト)

ホルモン年齢： IGF-I、DHEA-s

骨年齢： 骨密度 (DEXA)

免疫力： NK細胞活性、DHEA-s

酸化度： 8-OHdG、イソプラスタン
LPO (過酸化脂質)

ストレス度： コルチゾル、DHEA-s

解毒・代謝： T3、T4、インスリン
アディポネクチン

生活習慣： 睡眠、酒、タバコ、運動

抗加齢（アンチエイジング）指導の成果

- ・ 動脈硬化を防ぐ
- ・ 骨粗しょう症を防ぐ
- ・ 寝たきりを防ぐ
- ・ 認知症（痴呆）を防ぐ
- ・ 癌を防ぐ
- ・ 皮膚老化を防ぐ



健康長寿

同志社大学アンチエイジングドック の目指すところ

- ・アンチエイジング医学の広報
- ・モデル医療の追求
- ・医学的エビデンスの集積
- ・企業検診への導入モデル
- ・新学部における医学教育

(生命医科学部)